

大学院 教育学研究科 学校教育専攻 主催
2014年度 修士論文 第一次中間報告会
学校教育専攻 第九期 1年

日時：2014年10月29日（水） 13：00～

場所：12103 教室 発表時間：発表 20 分 質疑応答 10 分

13:00～13:05

研究科長挨拶

- 1 13:05 浦野 遥 創造的な表現力をはぐくむ音楽学習の指導
-音楽と身体表現のかかわりに着目して-
主指導教員 島崎 篤子 副指導教員 中本 敬子
- 2 13:35 小松崎 洋史 概念変容を促す協働学習を取り入れた理科の授業提案
-溶解概念を例に-
主指導教員 中本 敬子 副指導教員 山田 陽一
- 3 14:05 日置 有樹奈 教室内動物飼育の効果と今後の展開
主指導教員 嶋野 道弘 副指導教員 今田 晃一

14：35～14：40

専攻長挨拶 吉田正生



感想

今回、中間報告会を実施させていただくにあたり、多くの方々から温かいご指導ご鞭撻や、ご協力を頂きましたことに心より感謝申し上げます。

はじめに研究科長の嶋野先生から、温かい励ましのお言葉をいただきました。

私たち八期生にとって初めての中間報告会でしたが、各々に新しい課題に気付いた報告会となりました。修士論文の集約とも言えるテーマや、用いた言葉の定義など、自分がこれまで研究してきた成果を先生方からご指摘いただいたことで、まだまだ突き詰めて探求していける点があることに気付くことができました。

また、専攻長の吉田先生から、研究の大きな流れと帰着するゴールを見据えたお話をいただきました。研究に取り組んでまだ半年ほどではありますが、既に四分の一が過ぎたことをそれぞれに意識し、そして研究の今後の展望を改めて考える機会となりました。

この報告会で得たことを糧に、これから自分自身の研究に繋がられるよう、より一層精進してまいります。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

文教大学大学院教育学研究科

9期生一同